

大学コンソーシアム八王子 学生企画事業補助金 指定課題【別添資料】

<加盟大学等ゼミ・研究室に調査研究を希望する地域課題>

1 団体名

公益社団法人八王子観光コンベンション協会

2 指定課題名

『八王子観光コンベンション協会MICE事業への提言』
～住む人にも、訪れる人にも、魅力的なMICE都市八王子実現に向けて～

※MICEとは…

多くの集客交流が見込まれる、企業等の会議=M(Meeting)、報奨・研修旅行=I(Incentive Travel)、国際機関・団体等が行う会議=C(Convention)、展示会や見本市=E(Exhibition/Event)の頭文字からとった世界的に使われる造語です。

MICEが開催されると、その地域に大きな経済波及効果を生み出すことはもちろん、世界から企業や学会の主要メンバーが集うことによる地域関係者との新しいビジネスやイノベーションの機会の創出、都市の競争力強化などさまざまな効果をもたらします。そのため、世界各国・各都市が経済戦略の中で、その達成手段の施策としてMICE誘致に取り組んでいます。

3 課題の概要・背景・理由

現在、八王子観光コンベンション協会では、東京都より市内に建設中の多摩地区最大規模の展示施設を備えた『産業交流拠点(仮称)』の竣工(2022年2月予定)に向け、MICE事業に取り組んでいます。

MICE開催地には、『宿泊』、『飲食』、『土産』、『観光』等、MICE参加者の消費のみならず、『レセプション』、『会場設営』、『印刷』、『警備』など主催者の開催経費も加わり、非常に裾野の広い経済効果が生まれるため、八王子においても、人口減少・少子高齢化社会を迎えるなか、MICE事業は重要な産業振興の一つと位置付けられています。

国際的なMICE誘致競争が激化するなかで、八王子がMICE開催地として選ばれ、その効果を最大限地域にもたすためには、地元への理解を深めオール八王子としてMICE開催を支援する体制構築や、多様性を受け入れる環境整備、八王子の『自然』、『産業』、『歴史・文化』など豊富な地域資源を活かしたコンテンツ開発、主催者や時代のニーズにマッチする先進的な取り組み、戦略的且つ効果的なPR/誘致活動等さまざまな角度からのアプローチが必要となります。

そこで、学生の皆様の柔軟な発想のもと生まれる提言を、八王子におけるMICE事業の推進力とするべく、各校・各ゼミで取組まれている研究を如何にMICE事業に活かせるかという自由な視点で広く求めます。

4 調査・研究の視点

昨年度採用例や下記(1)～(6)に記した調査・研究テーマ発見のためのキーワードを参考に、現在、またはこれから取り組む研究がどのように八王子のMICEに活かせるかという視点でテーマを決定してください。

■昨年度採用例

- 1.「八王子うMICE(うまいす)弁当」の企画開発と栄養学的商品価値の調査研究
～大学発八王子食材弁当によるMICE誘致の可能性の追求～ (東京家政学院大学 食育研究会)
- 2.MICEを支える八王子の資源としての農業を軸とした体験型ツアー企画の完成 (帝京大学 比佐ゼミ)

■テーマ発見のためのキーワード

(1)持続可能なMICE都市実現

①環境

環境への負荷を減らす取組み ⇒ エネルギー、素材、廃棄物減、イベントで使用する調達への配慮、フードロス等
例)プラスチックを排除したMICE開催、フードロスを発生させないパーティー開催、多摩産材を使用した調達品など…

②経済

地域への経済波及効果をもたらす取組み ⇒ 地域での調達、MICE参加者の消費を促す施策、農業や産業をはじめとした地域資源の活用等

例)食べ歩き施策等市内の店舗に経済効果をもたらす仕組み、地元野菜を使った商品やプログラムの開発、地元産業と参加者をマッチングさせる見学ツアーなど…

③社会

多様性を受け入れる環境整備や地域とのコミュニケーション・社会貢献活動 ⇒ダイバーシティの尊重、ボランティア参画促進等
例)ユニバーサルデザインを意識した制作物の作成、ハラル・ベジタリアン・ビーガンに対応する飲食店マップやメニューの提案、MICE参加者向け託児所の開設など…

(2)八王子MICEのブランディング

八王子の特色や潜在的魅力を活かしたブランディングやプロモーションツール、新しい角度でのマーケティング提案等
例)都市と自然の二面性を活かしたMICE都市八王子のブランディング施策、各種PRツールの開発など…

(3)テクノロジーを駆使したMICE誘致やMICE開催

会議場でのIT活用や誘致PRに活かせるツール、MICE開催時アプリ活用、参加者への調査、経済波及効果測定など
例)アプリを使った参加者アンケートやAR・VRプロジェクションマッピングを活用したエクスカーションツアーなど…

(4)MICEのレガシー効果獲得のための施策

地域の生活者や、ボランティアスタッフ、イベント関係者、団体等に対し、効果的にレガシーを残すための施策等
参考(観光庁HP) : http://www.mlit.go.jp/kankochou/page03_000050.html
例)MICE開催ボランティア育成など…

(5)学園都市を活かしたMICE

学生のMICE参加や大学施設を活かしたMICE開催・体験プログラム等
例)市内大学施設を活用したエクスカーションツアー、MICE参加者への研究発表披露や研究とのマッチングなど…

(6)周辺自治体との連携

国際会議開催都市ランキング世界13位のスケールメリット(2018、ICCA発表)や周辺地域の資源を活用する八王子MICE

■MICE開催の主な関係者

①主催者

MICE開催目的の達成が最大の目標。目的は会議の成功、収益目標達成、組織のPRなどさまざま。環境に配慮したMICE開催に取組んだり、CSR活動を行うなどMICE開催を通じ組織のイメージアップにつながることも。

②参加者

MICE参加が最大の目的であるが、参加者同士や地元の人とのネットワーキング、訪れる地域ならではの文化に触れる体験やMICE参加前後の余暇を利用したツーリズムのニーズもある。MICE開催地の魅力が参加の動機に繋がることも。

③同伴者

MICE参加者の同伴者としてMICE開催地を訪れる家族など。

④地元住民

MICEに語学・案内等ボランティアとして参加したり、MICE主催者による市民公開講座に参加することも。また近年のトレンドとして、MICE参加者との地元との交流の機会創出が図られことも増えてきている。世界規模の大会など大規模MICEが開催されることでシビックプライドの醸成にも繋がる。

⑤地元事業者

参加者の消費はもちろん、MICE開催に係る設営等広い受注機会の獲得やMICE参加者との交流によるビジネスイノベーションの獲得機会を得る。

⑥地元コンベンションビューロー(協会)

MICE主催者/参加者と地元事業者/住民をつなぐ橋渡し役。MICE誘致活動やMICE事業推進のための総合的活動を行う。

■八王子で開催された国際会議の事例(八王子観光コンベンション協会が開催を支援)

会議スケジュール

1. 会議前々日

国内受入れ団体八王子入り(会議・受入れ準備)

2. 会議前日

海外前日入りメンバーの受入れ

国内受入れ団体は八王子までの交通の手配や案内に加え到着後のエクスカーションやディナーを準備

3. 会議1日目

午後から会議スタート 地元居酒屋でディナー

4. 会議2日目

終日会議 会議終了後、ホテルでウェルカムレセプション開催

5. 会議3日目

夕方まで会議 会議終了後ディナーを含んだエクスカーションを実施

6. 会議4日目

午前のみ会議 希望者を募りフレッシュメントを兼ねたエクスカーションを実施

7. 会議5日目

午前で会議終了

ポイント

- ・国際機関主催の関連分野世界基準を決めるための会議(5日間)
- ・国内受入れ団体が誘致立候補し、八王子開催のプレゼンテーションを経て開催決定した
- ・海外参加者の多くは同伴者と来日
- ・国内受入れ団体は世界各国からの参加者に対し歓迎を表現するためにお土産の選定からエクスカーションツアー先の事前視察、アトラクション実施先への事前挨拶に至るまで八王子に多く足を運ばれた
- ・5日間の長期にわたる会議のため、参加者が街を歩く姿も多くみられた

6 課題提供団体から可能な支援

情報・資料等の提供、関連団体の紹介等

7 連絡先

公益社団法人八王子観光コンベンション協会 MICE推進課

担当者名 湯村 亜衣子

電話 042-649-2827

E-mail hminfo@hachioji-mice.org